

塩谷郡市医師会リレーコラム シリーズ「在宅医療」

●ご意見やご質問、取り上げてほしい病気などありましたら
塩谷郡市医師会までお便りをお寄せください。
問い合わせ／〒329-1312 さくら市桜野1319-3
さくら市氏家保健センター内 塩谷郡市医師会

第1回「自宅で亡くなるということ」

厚生労働省の人口動態統計によると、今から60年ほど前の1950年代は大部分の方が自宅で最期を迎えていましたが、その後、病院で亡くなる方が徐々に増え、1970年代後半に逆転、今では自宅で亡くなる方は1割程度で、8割の方は病院で亡くなっています。

国民皆保険が実施され、所得水準も上がり、国民が等しく医療を受けることができるようになり、医学の進歩により心筋梗塞や脳卒中などの病気も入院加療が可能になりました。その結果、病院に入院すればどんな病気でも治り、延命できるという病院信仰が生まれ、最後の死に場所は病院へと代わってきたのです。一方、病院での高度先進医療が必ずしも高齢者に安らかな最期の時を保証してくれるわけではありません。

7月に105歳で亡くなられた日野原重明先生は、生前「よく生き、よく老い、よく病み、よく死ぬ」という生き方を説きましたが、最期は、長く院長を務めた聖路加病院ではなく、自宅で家族に見守られながら息を引き取

塩谷郡市医師会会長 岡 一雄 (さくら市) りました。

さくら市が65歳以上の高齢者2500人を対象に行ったアンケートによると、人生の最期をどこで過ごしたいかという質問に対し、7割の方は自宅、または自宅で療養して必要になれば医療機関に入院したいと答えました。一方、最初から医療機関を選んだ方は1割しかいませんでした。現状とは異なり、実際は多くの方が自宅での最期を望んでいます。

現在、日本の65歳以上の高齢者の割合は26.7%で、この割合は今後さらに高くなります。国は、高齢者が住み慣れた地域社会で自分らしく最期まで暮らせるかどうかをそれぞれの市町村の取り組みに任せています。今回から、リレーコラムは「在宅医療」をキーワードに医師会と行政が協働で取り組んでいる医療と介護の連携、在宅医療の推進について取り上げます。ぜひ自分自身と地域の問題として読んでいただき、ご意見をいただけたらと思います。

国民年金 年金の請求はお済みですか？

問い合わせ／大田原年金事務所 ☎(22) 6311
矢板市市民課 ☎(43) 1117
FAX(43) 5962

年金の受給資格期間が25年から10年に短縮されたことに伴い、新たに対象となる方には、右図の黄色の封筒で請求書を送付しています。請求がお済みでない方は、速やかにお手続きください。

なお、混雑が予想されますので、ご相談・お手続きの際は、**ねんきんダイヤル ☎0570(05)1165**、または、**大田原年金事務所 ☎(22)6311**にあらかじめご予約ください。



8/1時点で資格期間が10年以上25年未満の方にこの黄色の封筒をお送りしています。ご予約の上、お早めにご手続きを行ってください。

マイナンバー カード交付に 「事前予約」をご利用ください

問い合わせ／市民課 ☎(43) 1117 FAX(43) 5962

市では、窓口でお待ちいただく時間をできるだけ短縮し、スムーズにお渡しできるよう、窓口延長時(毎週月曜日の17:15～19:00 ※月曜日が休みの場合は、翌日)のマイナンバーカード交付に「事前予約制」を導入しています。

窓口延長時のカード交付を希望される方は、事前に市民課までお電話ください。
※通常の業務時間帯(8:30～17:15)は**予約不要**です。交付には**20分程度**かかりますので、時間には余裕を持ってお越しください。

インフルエンザ 予防接種費用を助成します

提出・問い合わせ／
対象①～③ 子ども課 ☎(44) 3600
対象④・⑤ 健康増進課 ☎(43) 1118

インフルエンザの発病、重症化を防ぐには予防接種が有効と言われています。市では、中学3年生および高校3年生相当の方、65歳以上の方などへ、インフルエンザの予防接種費用を一部助成します。

接種期間／10月1日(日)～平成30年2月28日(水)
接種回数／1人1回
料金／1,000円(医療機関の窓口でお支払いください)
持ち物／健康保険証・予診票

対象(※矢板市に住民登録がある方に限る)	接種医療機関・予診票について
① 中学3年生、または高校3年生として在学している方	【接種医療機関】 下表の市内医療機関で接種できます。 【予診票】 該当になると思われる方には事前に送付してありますが、お手元に届いていない場合は子ども課までご連絡ください。 (※医療機関には予診票はありませんので、必ず予診票を持参の上、接種してください。)
② 平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの方	
③ 平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの方	
④ 接種日に65歳以上の方	
⑤ 60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害があり、身体障害手帳1級相当の方	【接種医療機関】 下表の医療機関に加え、さくら市、塩谷町、高根沢町、および栃木県内の実施医療機関でも接種できます。 【予診票】 医療機関にありますので、予約の上、直接受診してください。

※②・③に該当する方の内、来年度以降に中学3年生、または高校3年生として在学予定の方は除きます。

医院名・病院名	電話	医院名・病院名	電話	医院名・病院名	電話
池田クリニック	☎(43) 0207	後藤医院	☎(44) 2323	橋本医院	☎(43) 0406
上田医院	☎(43) 7766	きうち産婦人科医院	☎(43) 5600	村井医院	☎(43) 0064
大島整形外科医院	☎(43) 5100	国際医療福祉大学塩谷病院	☎(44) 1155	村井胃腸科外科クリニック	☎(40) 3055
尾形クリニック	☎(43) 2230	佐藤病院	☎(43) 0758	矢板南病院	☎(48) 2555
かるべ皮膚科小児科医院	☎(43) 1210	なかじまクリニック	☎(48) 7701	谷仲医院	☎(48) 0800
かわしま循環器内科	☎(43) 5470	西川整形外科	☎(48) 2552	山田クリニック	☎(48) 1212

上記の医療機関(④・⑤に該当する方は塩谷地区の接種医療機関)以外で接種する場合は、医療機関の窓口で一旦接種費用を全額お支払いいただき、後日、担当課に必要書類(予診票、領収証、申請書など)を提出してい

ただ、償還払いとなります。
※医療機関によって実施期間が異なる場合がありますので、事前に医療機関にお問い合わせください。

高齢者用肺炎球菌ワクチン 予防接種費用を助成します

申請・問い合わせ／健康増進課 ☎(43) 1118

日本人の死亡原因の3位は肺炎です。特に高齢者や免疫不全の方は重症化しやすく、肺炎で亡くなる方の95%以上が高齢者です。そこで、高齢者用肺炎球菌ワクチンの予防接種費用を一部助成します。高齢者用肺炎球菌ワクチンは、肺炎の原因となりやすい23種類について感染を予防する効果があります。

希望される方は、申し込みが必要です。医療機関で接種を受ける前に、必ず健康増進課へお越しください。

対象(平成29年度)／※矢板市に住民登録がある方に限る
① 65歳以上の方(昭和28年4月1日以前生まれの方)
② 60歳以上65歳未満の方(昭和28年4月2日生～昭和33年4月1日生まれの方)で、心臓、腎臓、呼吸器の機能、または、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害があり、身体障害手帳1級相当の方
個人負担額／4,000円
助成回数／生涯1回のみ(※過去に助成を受けた方は対象外)

テレビショッピング「ハズキルーペ」あります
で紹介された

メガネではなく
ルーペなんです
上手な使い方を
教えさせていただきます。

信頼の日本製
レンズ10年保証

補聴器選びは
お店選びから
認定補聴器技能者
菊地理

ご購入いただいてからが
本当のお付き合い。
いつでも相談できる
地元のお店をお選びください

補聴器
ジュエリきくち

ダイユー矢板店前 木曜定休

営業時間 10:00～19:00
43-1347